

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓	到達目標の①②③に対応して、基礎となる事柄の理解度、栄養教育に必要な資料の理解度について評価する。修得した知識を活用して、食生活に関する課題を解決する力について評価する。 テキスト、プリント等の持ち込み不可。	
				②	✓		
				③	✓		
	平常評価	小テスト		15	①	✓	小テストを8回実施し、点数を平均して判定する。 ・授業内容を理解できているか、栄養士として必要な知識が獲得できているかを確認する。 ・穴埋め問題と簡単な説明を求める内容で出題する。 実施にあたっては、講義時に伝達する。
					②	✓	
					③	✓	
		レポート		15	①	✓	課題レポート5題（1レポート3点） 内容の詳細については、講義時に説明する。
					②	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①				
			②				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	（主体性）栄養教育に関する知識について、自己学修をすることができ、栄養教育技術の修得のために自ら練習をすることができる。 （実行力）いつまでに支援計画、資料等を完了するかの手順や方法を考え、目標に向かって進めることができる。 （課題発見力）思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見出すことができる。 （計画力）決められた時間内に、効果的な栄養教育を実施するように計画をたてることができる。 （創造力）物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。 （発信力）ポイントが整理され、工夫して発表、支援をすることができる。 （傾聴力）対象者の意見を聞き、さらに対象者から話を引き出すことができる。「あいづち」や「うなづき」など話を聞く姿勢ができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。	
				②	✓		
				③	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>到達レベルS (秀)</p> <p>総合評価点 90点以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育のために必要な基礎知識を理解し、実践に向け、効果的に説明することができる。 ・健康教育に必要な資料についてしっかりと理解し、対象者に応じた資料を作成することができる。 <p>到達レベルA(優)</p> <p>総合評価点 80点以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育のために必要な基礎知識を理解し、実践に向け、ほぼ説明することができる。 ・健康教育に必要な資料について理解し、対象者に応じた資料を作成することができる。 	<p>到達レベルB (良)</p> <p>総合評価点 70点以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育のために必要な基礎知識を理解し、実践に向け、ほぼ説明することができる。 ・健康教育に必要な資料について探すことができ、対象者に応じた資料を作成することができる。 <p>到達レベルC (可)</p> <p>総合評価点 60点以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育のために必要な基礎知識をおおむね理解し、実践に向け、かろうじて説明することができる。 ・健康教育に必要な資料について探すことができ、対象者に応じた資料をかろうじて作成することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	◆オリエンテーション ・栄養教育とは ・栄養教育の目的 ・栄養教育と栄養士の役割について	講義 質問を受け、フィードバックする	栄養教育と栄養士の役割について説明できる。	〈復習〉栄養教育の目的をまとめる 〈予習〉我が国の栄養教育の歴史についてまとめる(テキストP5～11)	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	◆日本の栄養教育の歴史 ・戦前戦後の生活 ・栄養摂取の推移と死因別死亡率の関係	講義(PC活用: NotebookLM) 質問を受け、フィードバックする	戦後の栄養摂取の推移と死因別死亡率の関係について説明することができる。	〈復習〉授業での内容についてノートにまとめ、理解しておく。 〈予習〉国民健康づくり対策についてまとめる。(テキストP5～11)	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	◆国民健康づくり対策I ・第1次国民健康づくり対策について ・健康づくりのための食生活指針について	講義(PC活用: NotebookLM) 質問を受け、フィードバックする	健康づくりのための食生活指針について、その重要性について説明することができる。	〈復習〉健康づくりのための食生活指針と栄養摂取の関係をまとめる。 〈予習〉国民健康づくり対策についてまとめる。(テキストP12～15)	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	◆国民健康づくり対策II ・第2次国民健康づくり対策～第5次国民健康づくり対策について	講義(PC活用: NotebookLM) 質問を受け、フィードバックする	国民健康づくり対策について第2次～5次までの特徴を説明できる。	〈復習〉授業での内容についてノートにまとめ、理解しておく。 〈予習〉教科書等で食事摂取基準について予習しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	◆栄養教育をするためのツールI ・食事摂取基準 ・日本人の食事摂取基準の概要と記載されている栄養素について	講義 質問を受け、フィードバックする	食事摂取基準について理解し、活用の仕方を説明することができる。	〈復習〉授業での内容について、ノートにまとめ、理解しておく。 〈予習〉食事バランスガイドについて予習しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	◆栄養教育をするためのツールII ・食事バランスガイドを使用した栄養教育の方法 ・自分の1日の食事を食事バランスガイドで確認する。	講義 質問を受け、フィードバックする	食事バランスガイドについて、正しく説明ができ、活用できる。	〈復習〉授業での内容について、ノートにまとめ、理解しておく。 〈予習〉食品の分類方法についてまとめる。(テキストP155)	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	◆栄養教育をするためのツールIII ・3色食品群 ・四つの食品群 ・6つの基礎食品群	講義(PC活用: NotebookLM) 質問を受け、フィードバックする	3色食品群、四つの食品群、6つの基礎食品群の群分けと栄養素の関係を理解し、説明することができる。	〈復習〉授業での内容について、ノートにまとめ、理解しておく。 〈予習〉食品成分表の18分類	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	◆食品成分表の見方・使い方 ・栄養成分表の概要について ・栄養価計算の方法 ・栄養価計算上の注意点	講義 演習、アクティブラーニング 質問を受け、フィードバックする	食品成分表の使い方、食品の検索法、食品分類を理解し、自己の1日の食事調査の栄養価計算を正しくすることができる。	〈復習〉提示した料理の栄養価計算を正しく行う。 〈予習〉栄養指導の方法についてまとめる。(テキストP59～62)	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	◆栄養指導の方法 ・個別指導 ・集団指導と指導形態 ・栄養指導で用いる教材	講義(PC活用: NotebookLM) 演習アクティブラーニング 質問を受け、フィードバックする	栄養教育の場において、対象者に合わせた適切な教材を選択することができる。	〈復習〉集団指導の指導形態について確認する。 〈予習〉生鮮食品、加工食品の表示を収集し、食品表示を確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	◆生鮮食品・加工食品の表示内容と栄養教育Ⅰ ・生鮮食品と加工食品の食品表示の見方を学ぶ	講義 演習アクティブラーニング 質問を受け、フィードバックする	生鮮食品と加工食品の表示の見方が理解し、説明することができる。	〈復習〉加工食品の表示の見方を確認する。 〈予習〉加工食品の表示を収集し、栄養成分表示を確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	◆生鮮食品・加工食品の表示内容と栄養教育Ⅱ ・加工食品の栄養成分表示の見方、活用の仕方を学び、食生活を向上させるための課題を見出し、解決方法を考える。	講義 演習アクティブラーニング 質問を受け、フィードバックする	加工食品の栄養成分表示の見方を理解し、栄養教育に活用することができる。	〈復習〉加工食品の栄養成分表示の見方を確認する。 〈予習〉栄養マネジメントについて予習をし、まとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	◆栄養教育の展開Ⅰ ・栄養教育に必要な栄養マネジメントについて概要、手順を学ぶ	講義 演習アクティブラーニング 質問を受け、フィードバックする	栄養マネジメントについて概要を説明することができる。	〈復習〉授業での内容について、ノートにまとめ、理解しておく。 〈予習〉特定検診・特定保健指導について理解を深めておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	◆栄養教育の展開Ⅱ ・特定検診・特定保健指導について ・事例について、指導の階層化をし、生活習慣のアドバイスを考える	講義 演習(PC活用: NotebookLM) 質問を受け、フィードバックする	さまざまな事例について、指導の階層化ができ、生活習慣の問題点をあげることができる。	〈復習〉授業での内容について、ノートにまとめ、理解しておく。 〈予習〉幼児・小学生・大人などの対象者に、どのような栄養教育をしたいのか、まとめておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	◆栄養教育案の作成 ・栄養教育の内容を栄養マネジメントに沿って教育案を作成する手順、実際の進め方を学ぶ	講義(PC利用) 演習アクティブラーニング 質問を受け、フィードバックする	栄養マネジメントに即した栄養教育案を作成することができる。	〈復習〉グループ内で協力して、対象の栄養教育案を完成させる。 〈予習〉教育計画が説明できるように、プレゼンテーションの練習をしておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	◆栄養教育案発表・評価 ・栄養教育案のプレゼンテーションをする ◆栄養教育のまとめ	講義 プレゼンテーション 質問を受け、フィードバックする	栄養教育案を立案できる。	〈復習〉授業での内容について、ノートにまとめ、理解しておく。 栄養教育に必要な基礎知識を復習しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力